

2012年7月10日

## 短工期・低コストで、“安全・安心”を実現 既設エレベータ向け 〈安全向上パッケージ〉販売開始！

フジテック株式会社（本社：滋賀県彦根市 社長：内山高一）は、既設エレベータの安全性を高める〈安全向上パッケージ〉を、7月10日から販売開始します。エレベータの安全や、防災対策への意識が高まる中、エレベータ改修工事にかかる費用や時間を抑えながら、安全性を確保できる内容になっています。

また、〈安全向上パッケージ〉は、国が今年度予算に盛り込み、推進中の「既設昇降機安全確保緊急促進事業」の対象となる、『戸開走行保護装置の設置』、『P波センサー付地震時管制運転装置の設置』、『耐震補強の実施』の3項目に対応しており、これらを採用することで、補助金の適用も可能となります。

フジテックでは今後も、“安全・安心”なエレベータ改修工事を推し進め、更なる安全性、快適性、機能性の実現を目指します。

### 〈安全向上パッケージ〉の主な特長

#### ■ 戸開走行保護装置

ブレーキを二重化することで、戸開状態での走行を抑止します。

万一の場合にも、利用者の安全を守ります。

#### ■ P波センサー付 地震時管制運転

P波センサーが初期微動（P波）を感知し、自動的に最寄階へ停止します。

ドアを開いて、乗客の閉じ込めを防止します。

#### ■ 耐震補強

既設エレベータの耐震性能を診断し、必要な耐震補強を実施します。

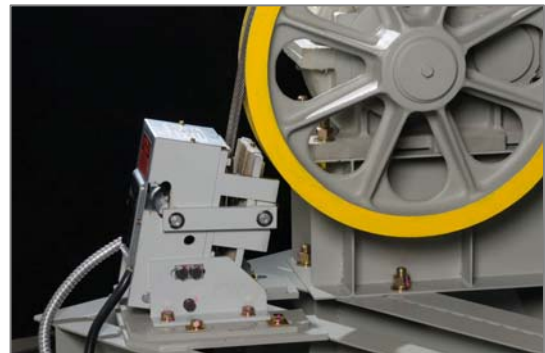
最適な改修を行うことで、万一の地震に備えます。

## 〈安全向上パッケージ〉の特長と仕様

### 1. 戸開走行保護装置

ブレーキや運転制御回路などの故障により、万一、エレベータのドアが開いた状態で、かごが動き出した場合でも、保護装置が働き、自動的に二つ目のブレーキを作動させ、かごを制止します。ブレーキの二重化で、戸開走行による事故を防ぎます。

独立式ロープブレーキを採用していますので、既設の巻上機を交換することなく、ブレーキの二重化が実現でき、費用を最小限に抑えられます。



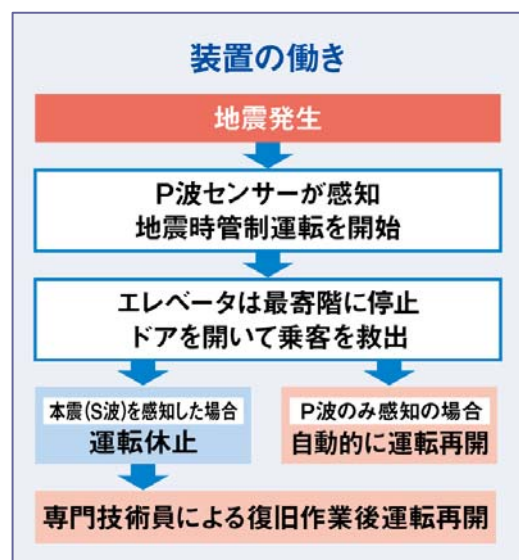
二重ブレーキを採用した巻上機

### 2. P波センサー付 地震時管制運転

地震による利用者の閉じ込めを防止するため、センサーが地震を感知すると、直ちに管制運転を開始します。本震が到達する前に、いち早く地震の初期微動(P波)を感知し、自動的に最寄階に停止し、乗客の閉じ込めを防ぎます。

その後、小さな地震であれば、自動的に運転を再開し、一方で大きな揺れ(本震)を感知した場合は、運転を休止し、専門技術員による復旧作業を待つようにプログラムされています。

さらに、地震時だけでなく、停電の際にも対応する「ランディック」(停電時自動着床装置)を装備することで、停電時にエレベータが停止した場合、自動的にバッテリー電源を利用して、エレベータを最寄階へ着床。ドアを開いて、素早い救出が行えます。



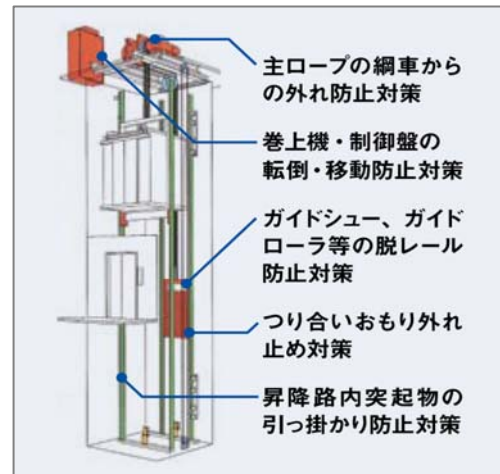
2012年7月10日

### 3. 耐震補強

地震の揺れは、ロープ類の外れや引っ掛かり、脱レールなど、さまざまな破損を引き起こし、乗客の避難の妨げになります。

駆動装置や制御装置を耐震補強することで、破損からエレベータを守り、利用者を安全に避難させます。

既設エレベータの耐震性能を診断した上で、最適な改修を行い、万一の地震に備えます。



補強個所の例

## 「既設昇降機安全確保緊急促進事業」について

近年、エレベータの安全性向上や防災対策への意識がますます高まっており、2009年9月には建築基準法施行令が改正され、「戸開走行保護装置の設置」、「P波センサー付 地震時管制運転装置の設置」、「耐震補強の実施」が義務付けられました。

しかし、この法律は制定された以降に着工したエレベータにしか適用されないため、現行の安全基準に満たないエレベータは、稼働中の約9割を占めているというのが実情です。

こうした中、国は、緊急的に既設エレベータの安全性を高めるための施策として、安全性向上を始め、工事の円滑化や費用の低減などモデル性を有した事業に対して支援する「既設昇降機安全確保緊急促進事業」を推進しています。

具体的には、「戸開走行保護装置の設置」、「P波センサー付 地震時管制運転装置の設置」、「耐震補強の実施」の3つを満たす改修工事に対し、補助金が支給されることになっており、6月14日付けで、フジテックが申請した4つの改修プランで採択を受けています。

2012年7月10日

## 補助金の適用例について

〈安全向上パッケージ〉は、補助金適用の条件となっている、「戸開走行保護装置の設置」、「P波センサー付地震時管制運転装置の設置」、「耐震補強の実施」の3項目をすべて包含していますので、〈安全向上パッケージ〉を実施する際の費用のうち、3分の1が国から補助されます。

例えば、エレベータ制御システムのリニューアルに伴って、〈安全向上パッケージ〉を導入した場合、総額約1,000万円のうち、〈安全向上パッケージ〉に400万円かかり、そのうちの3分の1に相当する約133万円が国から補助金で賄われることとなります。

**補助金 133万円**安全向上  
パッケージ  
400万円エレベータの  
リニューアル費用  
1,000万円

補助金の適用例

本件のお問い合わせ先：フジテック株式会社

広報室 東京本社 TEL：03-4330-8233 FAX：03-4330-8220

ビッグウイング TEL：0749-30-6503 FAX：0749-30-7055

www.fujitec.co.jp

以上